

編修趣意書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
30 - 98	小学校	外国語	英語	6年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
11 学図	英語 604	JUNIOR TOTAL ENGLISH 2		

I 編修の基本方針

「何ができるようになるか」を重視した学習指導要領の方向性を踏まえ、学校図書の教科書は、「**多様性を前提とした問題解決能力の育成**」を共通の編集理念とし、

育てたい資質・能力を以下の通りにとらえました。

育てたい資質・能力

1

- 「なぜ?」「わかった!」を尊重する力
- 論理的に考える力

2

- 多様な他者とコミュニケーションする力
- 少数意見も尊重した合意形成する力

3

- 未解決の問題への関心
- 社会に貢献する意欲

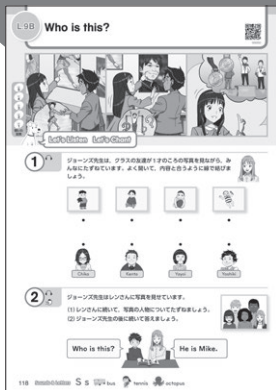
この共通編集理念のもと、JUNIOR TOTAL ENGLISH で育てたい資質・能力を以下のとおりに考え、それぞれの資質・能力の育成を目指して編集しました。

繰り返しの中から

つかむ!

繰り返しと
気づきを大切に、
英語を理解する力

(第1号・第2号)



実際の
コミュニケーションとして
使う!

身近な交流を通して
英語を創造的に使う力

(第3号・第4号)

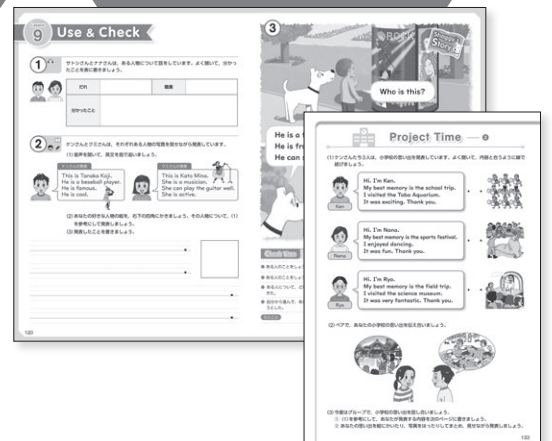


英語を通して学びを

広げる!

英語やその文化に
関心をもち、
世界を広げようとする姿勢

(第3号・第4号・第5号)



繰り返しの
中から
つかむ!

繰り返しと気付きを大切に、 英語を理解する力を育てる

英語学習の入門期にあたる小学校段階では、音声によるインプットを最重視しました。音声インプットをできる限り多く繰り返し与え、その中で子どもの気付きが生まれることを大きな基本方針としました。



①とにかく繰り返し聞く

●歌を毎時間繰り返し聞く (口ずさむ)

伝統的な英語の歌は、英語らしい音の流れやイントネーションを含んでいます。毎時間聞き、口ずさむことで、英語らしさに慣れることができます。



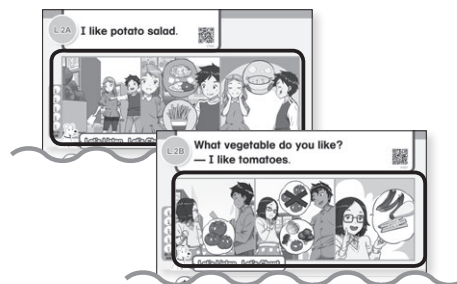
●レッスンのシーンを繰り返し聞く

1枚絵を見ながら、ナレーションやA～C各セクションのLet's Listenを聞き、話の展開に気付かせます。ナレーション→Let's Listen A→ナレーション→Let's Listen B(→ナレーション→Let's Listen C)→ナレーションの構成になっており、これを毎時間聞きます。



●Let's Listenの英語を繰り返し聞く

3コマの絵を見ながら何度も聞きます。



②身に付けたい目標表現も繰り返し

●目標表現を、 スクリプト内で繰り返し

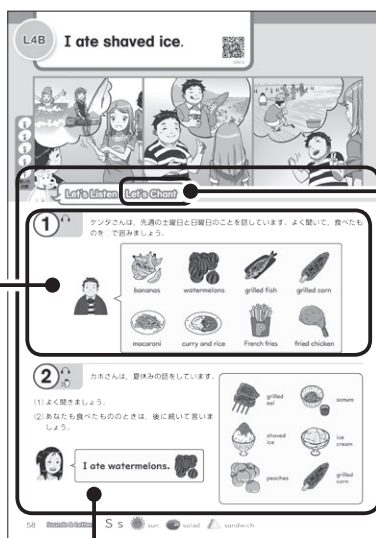
Let's Listenには、目標表現を2回以上入れています。

●アクティビティの スクリプトでも繰り返し

アクティビティのスクリプトにも、目標表現を何度も出しています。イラストを見ながら、英語らしいリズムで目標表現を聞くことで、目標表現の意味を主体的に理解することができます。

① スクリプト

I ate watermelons.
I ate grilled eel.
I ate somen.
I ate grilled corn.
I ate peaches.
I ate ice cream.
I ate shaved ice.



●👂→🗣️のアクティビティで繰り返し

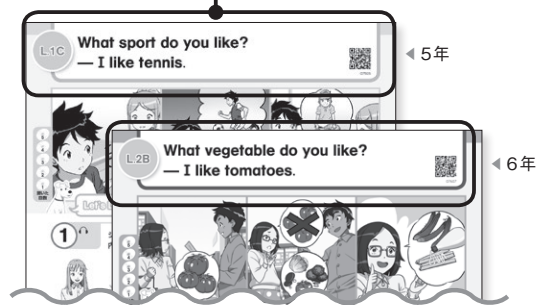
まずは聞くだけのアクティビティから入り、次に後に続いて言うアクティビティを行います。インプットをたっぷりしてからアウトプットを促します。

●目標表現を含むチャンツを 繰り返し聞く(言う)

英語らしいリズムのチャンツを繰り返すことで、目標表現の自然なアウトプットを促します。

●5年～6年生で 目標表現を繰り返し

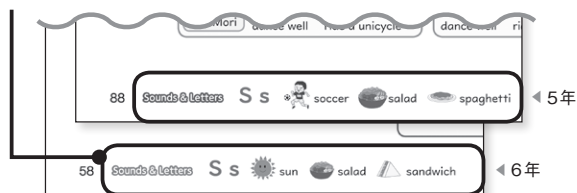
5年生で学習した表現を、6年生でも場面を変えて扱うことで、深い理解を促します。



③読み・書きも繰り返し

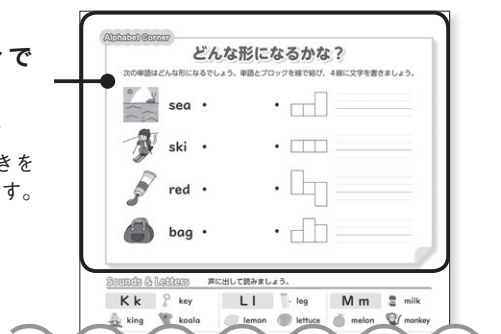
●文字の読みを Sounds & Letters で繰り返し

5年生で学習した文字の音を、6年生では違う単語も用いて学習します。



●年間10回の Alphabet Cornerで アルファベットの 読み書きを繰り返し

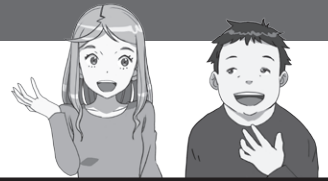
アルファベットの読み書きを定着させることができます。



実際の
コミュニケーション
として
使う！

身近な交流を通して、 英語を創造的に使う力を育てる

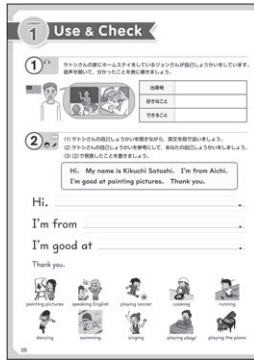
実際に使うことを通して英語を身に付けられるように、相手や場面を意識して英語を使う活動を用意しています。特に、登場するクラスメートみんなと一っしょに、子どもたちにとって身近なテーマに沿って、英語を使ってともに成長する魅力的な内容になっています。



- 等身大の子供達と
何気ない日常を描いたストーリーの中で、
多様な「伝え合う」
児童の身近な場面を扱うことで、児童は「英語を使いたい」という気持ちになります。

● Use & Check

レッスンで学んだことを使ったアクティビティを通して、学びを振り返ることができます。4技能5領域の統合的な活動もあります。



● Project Time

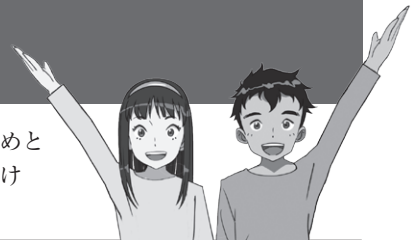
年間2回のプロジェクトタイムでは、今までに学んだことを使ってプレゼンテーションを行います。他者へ配慮しながら英語を使う態度を養います。



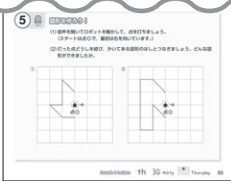
英語を通して
学びを
広げる！

英語やその文化に興味を持ち、 学びを広げようとする姿勢を育てる

英語という言語やその背景にある文化に対する関心を高める。英語を通して道徳をはじめとした他の教科等の学びとも関連を図る。そうした学びを通して、さらに英語の力を身に付け英語で交流を図ろうとする意欲・態度を養うことも大きなねらいとしています。



- アクティビティ5、
コラムでの他教科の学習や
異文化理解へのつながり



◀ プログラミング
学習も意識して
います。

- 1枚絵から広がる
楽しい世界

1枚絵には様々な状況・場面が描かれていて、ナレーションが、注目する場面へと導きます。英語を学ぶためだけに作られた世界ではない、実際にありそうな世界を見ることで、学習への興味・関心も広がります。



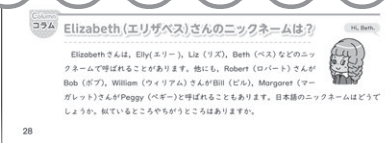
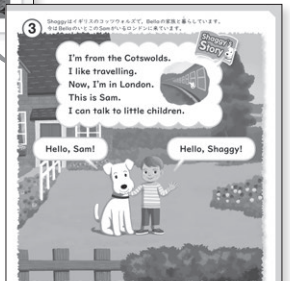
▲ 英語の授業以外での使い方に
触れることができます。

- 英語の歌、読みものから広がる英語の世界



◀ 歌
オーセンティックな歌を扱っているので、文化的な背景も学ぶことができます。

Shaggy's Story ▶
イギリスを舞台とした話です。学習した表現がたくさん使われているので、推測して読むことができ、成功体験へとつながります。



◀ レッスンで扱ったトピックに関する日本語のコラムです。理解が深まり、学びが広がります。



- 未来や世界に目を向ける
表見返し

英語を使用する職業を紹介しています。実際に英語が使われていることが分かり、将来への夢が広がります。

II 対照表

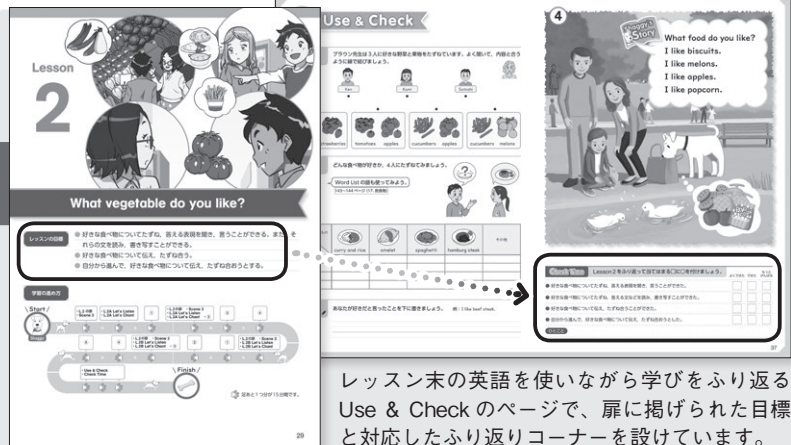
図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
クラスルーム・イングリッシュ	教室内の指示を扱い、道徳心を培うとともに、公共の精神に基づく態度を養う内容にしました。(第1号、第3号)	pp.8-9
Pre-lesson	挨拶を扱い、豊かな情操と道徳心を培う内容にするとともに、オリンピックの国名コードを扱い、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養う内容にしました。(第1号、第5号)	pp.10-16
Lesson 1 自己しょうかい I'm from India.	他国の人との文化についての会話を扱い、伝統と文化を尊重する態度を養う内容にするとともに、得意なことを言う活動を取り入れ、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばす精神を養う内容にしました。(第2号、第5号)	pp.17-28
Lesson 2 好きな食べ物 What vegetable do you like?	スーパーマーケットで男女が買い物をしている場面を扱い、男女の平等を重んずる態度を養う内容にしました。(第3号)	pp.29-38
Lesson 3 日本の祭り What festival do you want to see?	日本の祭りとは他国の祭りを扱い、我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重する態度を養う内容にしました。(第5号)	pp.41-52
Lesson 4 夏休みの思い出 I went to my grandparents' house.	夏休みに出かけた場所として、山や川などの自然豊かな場所を多く扱い、自然を大切にすることを養う内容にしました。(第4号)	pp.53-64
Lesson 5 自分たちの町、地域 We have a big park.	住んでいる地域の良さを伝え合ったり、他国の良さを聞いたりする活動を取り入れ、郷土を愛するとともに、他国を尊重する態度を養う内容にしました。(第3号)	pp.67-76
Project Time — ①	地域の良さとして自然を取り上げ、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度と郷土を愛する態度を養う内容にするとともに、グループでの活動を取り入れ、自他の敬愛と協力を重んずる内容にしました。(第3号、第4号、第5号)	pp.77-78
Lesson 6 道案内 Where do you want to go?	道案内のボランティア活動を扱い、主体的に社会の形成に参画する態度を養う内容にしました。(第5号)	pp.79-90
Lesson 7 小学校の思い出 What's your best memory?	小学校生活での一番の思い出を伝え合う活動を取り入れ、個人の価値を尊重する態度を養う内容にしました。(第2号)	pp.91-100
Lesson 8 将来の夢 What do you want to be?	将来就きたい職業とその理由を扱い、個人を尊重し、勤労を重んずる態度を養う内容にしました。(第2号)	pp.103-112
Lesson 9 人物を問う Who is this?	日本の偉人を扱い、伝統と文化を尊重する態度を養うとともに、幅広い知識と教養を身に付ける内容にしました。(第1号、第3号)	pp.113-122
Lesson 10 中学校に入ったら What club do you want to join?	中学校生活への思いを伝え合う活動を取り入れ、豊かな情操を培う内容にしました。(第1号)	pp.123-132
Project Time — ②	小学校の思い出を一人ずつ発表する活動を取り入れ、個人の価値を尊重して創造性を培い、自主および自立の精神を養うとともに、グループ内での練習を取り入れ、自他の敬愛と協力を重んずる内容にしました。(第2号、第3号)	pp.133-134
Word Corner	町の施設、オリンピック・パラリンピックを扱い、我が国と郷土を愛する態度を養うとともに国際社会の平和と発展に寄与する態度を養う内容にするとともに、職業と小学校の思い出を扱い、個人の価値を尊重して、勤労を重んずる態度を養う内容にしました。(第2号、第5号)	pp. 39-40 pp. 65-66 p. 101
見返し	英語を使用する職業と日本各地の紹介を扱い、職業及び生活との関連を重視するとともに、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する態度を養う内容にしました。(第2号、第3号)	

Ⅲ 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

1 確かな学びのために

① 目標とふり返り、学習の見通しを明示

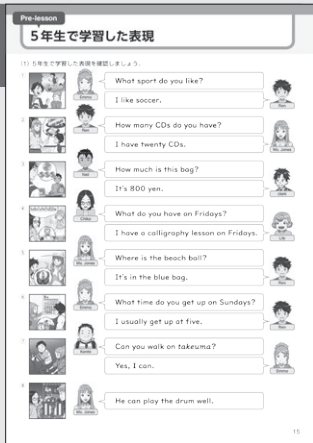
各レッスンに扉を設け、何を学ぶのか（目標表現、めあて）とどのように学びを進めるかを掲載し、学びの見通しを示しました。



レッスン末の英語を使いながら学びをふり返る Use & Check のページで、扉に掲げられた目標と対応したふり返りコーナーを設けています。

② 前学年までの復習も重視

6年生の初めには、Pre-lesson を設け、5年生までに学習したり、慣れ親しんだりしてきた表現を整理できるようにしています。

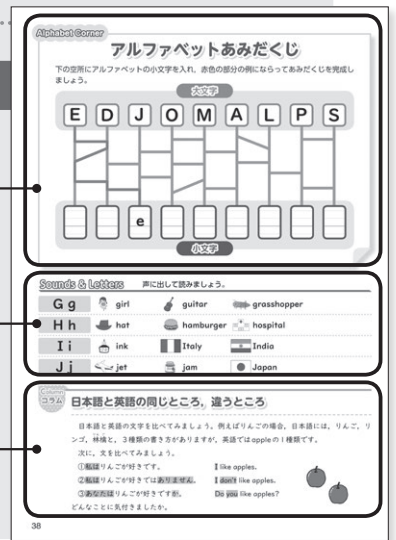


③ 自学習のページも充実

毎レッスンに設けてあるので、アルファベットの読み書きが定着し、スムーズに中学校へ移行することができます。

レッスンで学習した Sounds & Letters がイラスト付きでまとまっているので、推測しながら単語を読む復習ができます。

世界を広げ、英語学習への意欲を高めます。



2 学びを助けるために

① 短時間（15分）学習にも対応

アクティビティ1つを15分の目安で展開できるよう配慮。



▲オリンピック・パラリンピックについても扱っています。

学習の進め方を掲載

15分

15分

15分

② 教科横断的な活動や現代なテーマで英語を使う

⑤ では、教科横断的な内容や異文化に関する内容を扱います。

③ ユニバーサルデザインにも配慮

UD フォント
カラーユニバーサルデザイン
田中良広先生（帝京平成大学教授）の校閲・指導。

④ 書きやすい独自の4線



5:6:5 にすることで、小文字も書きやすく、大文字もバランス良く書くことができます。教科書内を書くスペースを設けてあるので、スムーズに書く活動に入ることができます。

⑤ 主体的な学びを助けるQRコード

クラスルーム・イングリッシュや目標文を、自分のペースで何度も聞くことができます。

編修趣意書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
30 - 98	小学校	外国語	英語	6年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
11 学図	英語 604	JUNIOR TOTAL ENGLISH 2		

I 編修上特に意を用いた点や特色

特色

1

身近で楽しいストーリーで進み、
コミュニケーションを図りたくなる教科書です

グローバル化の進む世界に生きる小学生にとっては、「いずれ英語が役に立つ」から学ぶというだけでなく、「今、英語を使って伝え合えた!」という実感も大切です。子どもたちの“Here and Now”、「今、ここで英語をどう使うの?」を基本に、多様な人々と英語で交流をしていく身近なストー

リー展開を考えました。子どもたちと等身大の30人のキャラクターが登場し、何気ない日常や生活を題材に様々な場面の交流を通して、彼らとともに英語を使って成長していくことを基調とした教科書です。

多様な
アクティビティで交流

**登場するクラスメート
みんなといっしょに
英語を使って成長**

**英語を書く
スペースも
ゆったり
あります。**

**学年に2回、
発表を行う
“Project Time”**

**使いながらレッスンの学習
事項を確認する“Use & Check”**



主体的・対話的で
深い学びを実現します

自分も主人公になって、他者に配慮しながら交流し、
思いや考えを深めていきます。

特色

2

音声によるインプットと、
繰り返しと気付きを基本にした教科書です

英語に限らず言葉を身に付けていく際には、何と言っても音声によるインプットが不可欠です。できる限り多くの耳から

のインプットにより子どもの気付きを生み、英語を使いながら身に付けていく帰納的な学びを基本とした教科書です。

繰り返し「耳から」のインプット

● 歌を毎時間繰り返し聞く
(口ずさむ)

伝統的な英語の歌は、英語らしい音の流れやイントネーションを含んでいます。毎時間聞き、口ずさむことで、英語らしさに慣れることができます。

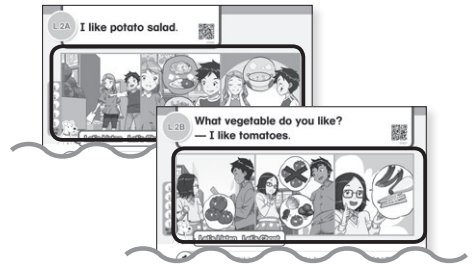


● レッソンのシーンを繰り返し聞く

1枚絵を見ながら、ナレーションやA～C各セクションのLet's Listenを聞き、話の展開に気付かせます。ナレーション→Let's Listen A→ナレーション→Let's Listen B(→ナレーション→Let's Listen C)→ナレーションの構成になっており、これを毎時間聞きます。



● Let's Listenの英語を繰り返し聞く
3コマの絵を見ながら何度も聞きます。



身に付けたい目標表現も繰り返し

● 目標表現を、
スクリプト内で繰り返し

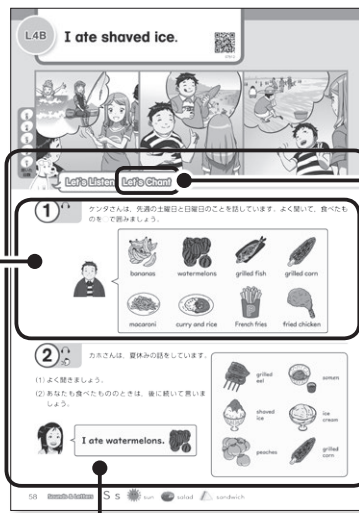
Let's Listenには、目標表現が2回以上入っています。

● アクティビティの
スクリプトでも繰り返し

アクティビティのスクリプトにも、目標表現が何度も出てきます。イラストを見ながら、英語らしいリズムで目標表現を聞くことで、目標表現の意味を主体的に理解することができます。

1 スクリプト

- I ate watermelons.
- I ate grilled eel.
- I ate somen.
- I ate grilled corn.
- I ate peaches.
- I ate ice cream.
- I ate shaved ice.

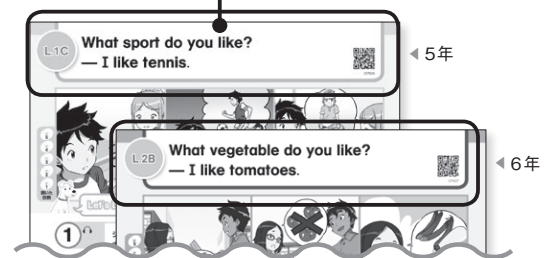


● 目標表現を含むチャンツを
繰り返し聞く(言う)

英語らしいリズムのチャンツを繰り返すことで、目標表現の自然なアウトプットを促します。

● 5年生～6年生で
目標表現を繰り返し

5年生で学習した表現を、6年生でも場面を変えて扱うことで、深い理解を促します。



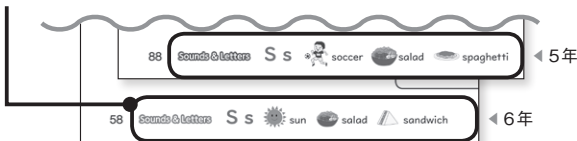
● 音声 → 音声のアクティビティで繰り返し

まずは聞くだけのアクティビティから入り、次に後に続いて言うアクティビティを行います。インプットをたっぷりしてからアウトプットを促します。

読み・書きも繰り返し

● 文字の読みを Sounds & Letters で繰り返し

5年生で学習した文字の音を、6年生では違う単語も用いて学習します。



● 年間10回の
Alphabet Cornerで
アルファベットの
読み書きを繰り返し

アルファベットの読み書きを定着させることができます。



主体的・対話的で
深い学びを実現します

繰り返しと気付きを重ねることで主体的な活動を促し、
より深い理解へと導いていきます。

特色
3

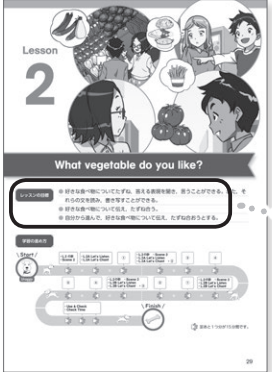
これからの英語学習を支える、 確かな英語力の基礎を身に付けられる教科書です

今回の学習指導要領の施行を機に、日本の英語教育は大きく転換します。小学校から高等学校までの10年計画で、英語の4技能5領域すべてを身に付けていこうという方向です。


楽しく、音声を中心に英語に慣れ親しむことに加え、これから続く英語学習のしっかりとした基礎作りも小学校英語教科書の重要な役割ととらえ、学びのつながりを重視した教科書です。

しっかりと学習の見通しがもてる

- レッソンのテーマ・トピックをイメージ
- レッスンタイトル
- レッソンの目標
- 学習の進め方

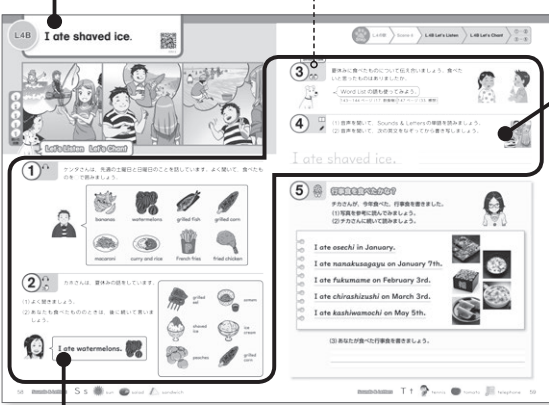


● チェックタイム (ふり取り)



4技能5領域の力を伸ばす

- 目標表現

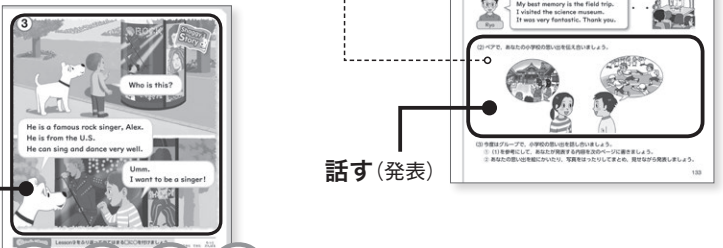


● Small Talkにも対応
6年生は、児童どうしてやりとりを行います。

● 読む
音声を聞いて単語を読む活動や、音声を聞きながら英文を指で追う活動、掲示やパンフレットから、自分が必要とする情報を得る活動を行います。

● 書く
1文のなぞり書きや書き写し、例の中から言葉を選んで書く活動を行います。

● 英語でのコミュニケーションにおける「見方・考え方」を意識
(日英の違いに着目/思い・考えを整理して発表)



● 話す(発表)

● 絵本

● 聞く 聞く 話す 読む 書く の順に進めていきます
くり返して言う(やりとり)



主体的・対話的で
深い学びを実現します

見通しをもって学習に取り組み、多様な表現活動を通して、英語の基本的な運用力を高めていきます。

繰り返しの
中から
つかむ!

繰り返して
気づきを大切に、
英語を理解する力

実際の
コミュニケーション
として
使う!

身近な交流を通して、
英語を創造的に
使う力

英語を通して
学びを
広げる!

英語やその文化に
関心を持ち、自分の
世界を広げようと
する姿勢

上記特色により、確かな英語でのコミュニケーション能力の基礎を身に付けられる教科書

>>> その他、編集上特に意を用いた点

① 短時間学習にも配慮

1つのアクティビティは15分の目安で展開できます。レッスンの扉にも学習の進め方を示しています。



② 自学習のページも充実

Alphabet Corner

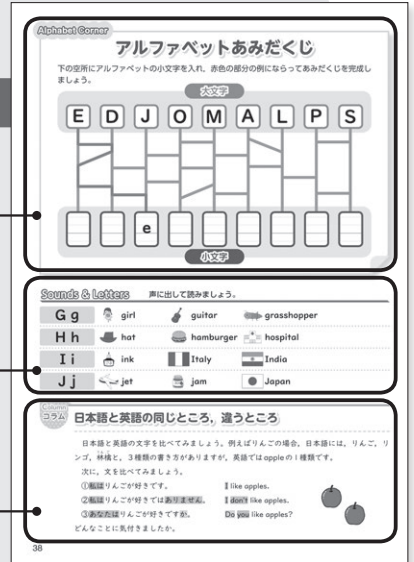
毎レッスンに設けてあるので、アルファベットの読み書きが定着し、スムーズに中学校へ移行することができます。

Sounds & Letters

レッスンで学習した Sounds & Letters がイラスト付きでまとまっているので、推測しながら単語を読む復習ができます。

コラム

世界を広げ、英語学習への意欲を高め、日本語と英語の違いについても扱っています。



③ 書き込みやすい独自の4線、UDフォント、カラーユニバーサルデザイン

田中良広先生（帝京平成大学教授）の校閲・指導の下、カラーユニバーサルデザインにも配慮しています。

書きやすい独自の4線



5:6:5 にすることで、小文字も書きやすく、大文字もバランス良く書くことができます。教科書内に書くスペースを設けてあるので、スムーズに書く活動に入ることができます。

④ 前学年の学習、語彙学習にも対応

6年生の初めには、Pre-lesson を設け、5年生までに慣れ親しんだり、学習したりしてきた表現や語彙を整理できるようにしています。



⑤ 活用広がる巻末絵単語リスト、英語の歌、QRコード音声

伝統的な英語の歌は、英語らしい音の流れやイントネーションを含んでいます。毎時間聞き、口ずさむことで、英語らしさに慣れることができます。クラスルーム・イングリッシュや目標文を、自分のペースで何度も聞くことができます。

II 対照表

図書の構成・内容		学習指導要領の内容				該当箇所	配当時数
課	課名	(1)英語の特徴やきまりに関する事項	(2)情報を整理しながら考えなどを形成し、英語で表現したり、伝え合ったりすることに関する事項	(3)言語活動及び言語の働きに関する事項	①言語活動に関する事項		
Pre-lesson		ア(ア)~(オ) イ(ア)(イ) ウ(ア)~(ウ) エ(ア)a~e(イ)a~c	イ	イ(ア)(イ) オ(ア)(イ)(ウ)	ア(イ) イ(ア)(イ)(オ)	10-16	2
Lesson 1	自己しようかい I'm from India.	ア(ア)~(オ) イ(ア)(イ) ウ(ア)(ウ) エ(ア)a~f, (イ)bc	ア イ	ア(ア)(ウ) イ(イ) ウ(ア)~(ウ) エ(イ) オ(イ)~(イ)	ア(ア)(イ) イ(ア)(ウ)(オ)	17-28	7

Lesson 2	好きな食べ物 What vegetable do you like?	ア(ア)～(オ) イ(イ)(イ) ウ(ウ)(ウ) エ(エ)a～e, (イ)bc	ア イ	ア(ア)(ウ) イ(イ)(イ) ウ(ウ)(ウ) オ(オ)～(イ)	ア(イ) イ(ア)(イ)(オ)	29-38	5
Lesson 3	日本の祭り What festival do you want to see?	ア(ア)～(オ) イ(イ)(イ) ウ(ウ) エ(エ)a～e, (イ)a～c	ア イ	ア(ア)(ウ) イ(イ) ウ(ア)～(ウ) オ(オ)～(イ)	ア(ア) イ(ア)(イ)(イ)	41-52	7
Lesson 4	夏休みの思い出 I went to my grandparents' house.	ア(ア)～(オ) イ(イ)(イ) ウ(ウ)(イ) エ(エ)a～f, (イ)a～c	ア イ	ア(ア)(ウ) イ(ア)(ウ)(イ) ウ(ア)～(ウ) エ(ウ) オ(オ)～(イ)	ア(ア) イ(ア)(ウ)～(オ)	53-64	7
Lesson 5	自分たちの町、地域 We have a big park.	ア(ア)～(オ) イ(イ)(イ) ウ(ウ)(ウ) エ(エ)abd～f (イ)bc	ア イ	ア(ア)(ウ) イ(イ) ウ(ア)～(ウ) エ(ア)～(ウ) オ(オ)～(イ)	ア(ア) イ(ア)～(ウ)(オ)	67-76	5
Project Time ①		ア(ア)～(オ) イ(イ)(イ) ウ(ウ)(ウ) エ(エ)abde (イ)ab	ア イ	ア(ア)(ウ) エ(ウ) オ(イ)	ア(ア) イ(イ)(ウ)	77-78	3
Lesson 6	道案内 Where do you want to go?	ア(ア)～(オ) イ(イ)(イ) ウ(ウ)(ウ) エ(エ)a～e (イ)bc	ア イ	ア(ア)(ウ) イ(イ) ウ(ア)～(ウ) エ(ア) オ(オ)(ウ)	ア(イ) イ(ア)～(オ)	79-90	7
Lesson 7	小学校の思い出 What's your best memory?	ア(ア)～(オ) イ(イ)(イ) ウ(ウ)(ウ) エ(エ)abd～f (イ)a～c	ア イ	ア(ア)(ウ) イ(イ) ウ(イ)(ウ) オ(オ)(ウ)	ア(ア) イ(ア)～(ウ)(オ)	91-100	5
Lesson 8	将来の夢 What do you want to be?	ア(ア)～(オ) イ(イ)(イ) ウ(ウ) エ(エ)abde (イ)bc	ア イ	ア(ア)(ウ) イ(イ) ウ(イ)(ウ) エ(ウ) オ(オ)～(ウ)	ア(ア) イ(ア)(ウ)(オ)	103-112	5
Lesson 9	人物を問う Who is this?	ア(ア)～(オ) イ(イ)(イ) ウ(ウ)(ウ) エ(エ)a～f(イ)bc	ア イ	ア(ア)(ウ) イ(イ) ウ(イ)(ウ) エ(ウ) オ(オ)～(イ)	ア(ア) イ(ア)(ウ)(オ)	113-122	5
Lesson 10	中学校に入ったら What club do you want to join?	ア(ア)～(オ) イ(イ)(イ) ウ(ウ)(イ) エ(エ)abd～f(イ)bc	ア イ	ア(ア)(ウ) イ(イ) ウ(ア)～(ウ) エ(ウ) オ(オ)～(イ)		123-132	5
Project Time ②		ア(ア)～(オ) イ(イ)(イ) ウ(ウ)(ウ) エ(エ)a～f (イ)bc	ア イ	ア(ア)(ウ) ウ(イ) エ(ウ) オ(イ)	ア(ア) イ(ウ)	133-134	3
Word Corner	<ul style="list-style-type: none"> ・オリンピック・パラリンピックの競技、人の体と動物 ・町の施設、施設でできること ・様々な職業 	ア(ア)～(オ) イ(イ)(イ) ウ(ウ) エ(エ)a～e (イ)a～c	ア	ウ(ア)(イ)	イ(オ)	39-40, 65-66, 101	4

編修趣意書

(発展的な学習内容の記述)

受理番号	学校	教科	種目	学年
30 - 98	小学校	外国語	英語	6年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
11 学図	英語 604	JUNIOR TOTAL ENGLISH 2		

ページ	記述	類型	関連する学習指導要領の内容 や内容の取扱いに示す事項	ページ数
135 136 137 138 139	Songs for Lessons	2	(1) ア (ア) 現代の標準的な発音 (イ) 語と語の連結による音の変化 (ウ) 語や句、文における基本的な強勢 (エ) 文における基本的なイントネーション (オ) 文における基本的な区切り	5
合計				5